

【令和6年度】（3課題公開・応募18社）

※住宅課の課題については、協働パートナーとして選定したものの、実証支援金等の採択に至らなかった。しかし、住宅課と協働パートナーが協議し、実証実験に取り組むことになった。

プロジェクト名	担当課×スタートアップ	解決したい課題・実証実験の概要	公開	応募社数
保育所等の入所審査の仕組みを効率化し、迅速に結果を通知できるよう検証します！	保育課 × BABY JOB (株) (大阪市淀川区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園等の入所審査業務では、①申請書類の内容チェック、②審査、③保育施設へ割り当て、④選考結果通知を行います。膨大な件数を手作業で行っていることから、保護者や保育施設への選考結果を迅速にお届けすることができません。特に時間がかかる②を中心にDX化し、保護者に結果をいち早く伝え、安心して入園を迎えられるようにします。</li> <li>・現状の入所審査業務を細分化し、デジタル化による時間短縮の効果が高いと考えられるポイントを検証したうえで、最適な改善方法の導入を目指します。</li> </ul> <p>&lt;実証支援金50万円+伴走あり&gt;</p>	○	9
中小事業者が自社に合った補助金情報を入手しやすい仕組みを検証します！	商工業振興課 × (株) Across Digital (東京都中央区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業に対する補助金、セミナー情報などは、市・県・国の各HPだけでは自社が対象になるのかが分かりづらく、各窓口で電話などで問い合わせる必要があります。自社にマッチした情報を簡単に探すことができるのと同時に、自動的に受け取れる仕組みをつくることで、中小企業の補助金探しの手間を軽減します。</li> <li>・生成AIを活用し、LINEなどのSNS上で自社情報（資本金・従業員数など）を登録するだけで、事業者に適した補助金情報を自動提供する仕組みを検証します。チャット機能を通じて、補助金の詳細や申請条件の確認も可能とし、情報取得の効率化を図ります。</li> </ul> <p>&lt;実証支援金50万円+伴走あり&gt;</p>	○	7
市営住宅の家賃未払いをなくしたい！効果的な通知や予防の実証実験	住宅課 × Lecto (株) (東京都渋谷区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅は住宅困窮者のための重要なセーフティネットですが、様々な事情で家賃滞納となる方がいます。個々に電話催告などを行いますが、滞納が深刻となると、市は最終的に住宅の明渡しを裁判に訴えなければなりません。このような状況になる前に、より効果的な方法で滞納を予防・解消することで、一人でも多くの方が安心して暮らし続けられる市営住宅運営を目指します。</li> <li>・滞納者への初期催告や電話・訪問・文書催告に回答していただけない入居者に対してSMSやIVR（自動音声応答）等の新たな通知方法を試験的に活用し、滞納の予防・解消につながる入居者の反応や事務の効率化に効果が見られるか検証します。</li> </ul> <p>&lt;実証支援金なし+伴走なし&gt;</p>	○	2

【令和5年度】（4課題公開・応募43社）

プロジェクト名	担当課× スタートアップ	成果	公開	応募 社数
学校の体育施設開放にかかる予約システム・スマートロックの導入	「スポーツのまち」づくり課 × (株) 構造計画研究所（東京都中野区）	体育施設開放にかかる利用者及び学校の負担軽減を目指し、予約のオンライン化とスマートロックを試験導入した。幸小学校、栄小学校、青陵中学校の3校で実証を行い、アンケート調査にて効果検証を行った。 なお、利用者からは総じて好意的な反応が見られたものの、以下の理由により令和6年度は予算化に至らなかった。 ・全ての施設への導入費用とそれに伴うコスト削減効果が具体的に示せなかった。 コストの精査を行い、令和7年度以降の予算化を目指す。	○	11
誰もがわかりやすい福祉サービス案内の開発	障害福祉課 × (株) トゥモロー・ネット（東京都品川区）	精神障害者保健福祉手帳によって受けられる福祉サービスは複雑で多岐にわたるため、市民は主に電話で窓口問合せを行う。ボイスボット（聴覚）とチャットボット（視覚）を融合したAIシステム上の専用応答シナリオを開発することで、市民からの電話問合せに24時間対応し、案内を行うための実証実験を行った。 なお、以下の理由により予算化には至らなかった。 ・AIシステムではなく、窓口で直接電話を希望する市民が多数であったため、システムの効果を十分に示すことができなかった。	○	14

【令和4年度】（5課題公開・応募38社）

プロジェクト名	担当課× スタートアップ	成果	公開	応募 社数
自然史博物館を使って、科学を楽しく学べるデジタルコンテンツを制作したい！	自然史博物館 × (株) TAGRE（東京都台東区）	コンテンツ配信プラットフォーム「QuestNote（クエストノート）」を活用し、ゲーム要素を盛り込み、自然史博物館について学べるコンテンツを開発。市内小学校52校の6年生（3,431人）を対象に、市内小学生を対象とした効果検証を実施した。 なお、以下2点の理由により予算化には至らなかった。 ・市長から理解を得られず、市長査定落ち。（そもそも自然史博物館は実物を見に来る場所である） ・ランニングコスト（毎年6年生分のライセンス料300万の支出）は高い。	○	14
市民が自分で市・県民税申告書を作成できる環境を届けたい！	市民税課 × (株) Lirem（愛知県豊橋市）	動画×質問回答「孫サポータの窓口」で、市・県民税申告書の作成をサポートするシステムを構築。実際の市県民税の申告受付会場で、システムの利用周知とアンケートを実施した。 なお、以下の理由により予算化には至らな	○	5

		<p>った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算要求までに試作品開発が間に合わず、効果検証が不十分だった。</li> </ul>		
--	--	---	--	--

【令和3年度】（4課題公開・応募27社）

プロジェクト名	担当課× スタートアップ	成果	公開	応募 社数
期日前投票所の混雑を解消し、快適な投票環境を作りたい！	選挙管理委員会 × (株)センサーズ・アンド・ワークス (兵庫県神戸市)	<p>以下2点の理由により予算化には至らなかった。</p> <p>① 混雑状況を示すサイトへ一定数の市民からアクセスがあったものの、当該発信による混雑状況緩和の効果をはっきりと示すことができなかった。</p> <p>② 取り付けたセンサーで正しく混雑状況を把握するための運用が煩雑であった。</p> <p>一方、本取組みはメディアに取り上げられ、選挙という失敗の許されない領域でも挑戦を試みる本市の積極的な姿勢が発信できた。</p>	○	5
子どもや家庭の健やかな成長と明るい未来のために、AIの活用で児童虐待に立ち向かいたい！	こども若本総合相談支援センター コエール × (株)カナミックネットワーク (東京都渋谷区)	<p>AIの精度を確保するための「教師データ」を実証期間内だけでは準備することができず、ツールの構築までは至らなかった。</p> <p>一方、国も児童虐待への対応にAI導入を検討しており、本事業が全国的に見ても先進的な取組みだったため、厚生労働省からヒアリングを受け、情報交換の機会を得られた。</p>	○	7

【令和2年度】（4課題公開・応募23社）

プロジェクト名	担当課× スタートアップ	成果	R3年度実装の内容	公開	応募 社数
訪問スケジュール最適化ツールの開発	長寿介護課 × あっとクリエーション(株) (大阪市)	いつでも誰でも、介護保険の認定調査員の訪問スケジュール調整ができるシステムの導入により <b>年間約360時間の業務削減</b> が見込める。	長寿介護課で実装し、認定調査員の訪問スケジュール調整に使用。(ただし、紙での管理と平行して使用している。)	○	4
外国人市民に伝わる情報発信手法の検証	多文化共生・国際課 × ためま(株)(広島市)	外国人市民向け情報提供サイトの導入を協働開発。 <b>サイトの利用希望率が98.7%</b> を記録。	外国人市民情報発信WEBサイト「ぽけとよ」として2021年9月にオープン。現在も稼働中。	○	4
道の駅のシェアキッチンを活用した新たなビジネスの展開	農業企画課 × Lawin(株)(東郷町)	Lawin(株)と道の駅とよはしで検討を進めた結果、実証実験の実施には至らなかった。ただし、Lawin(株)に対し、一緒に事業に取り組めそうな <b>市内企業を道の駅とよはしを介して紹介した。</b>	実装せず。	○	10